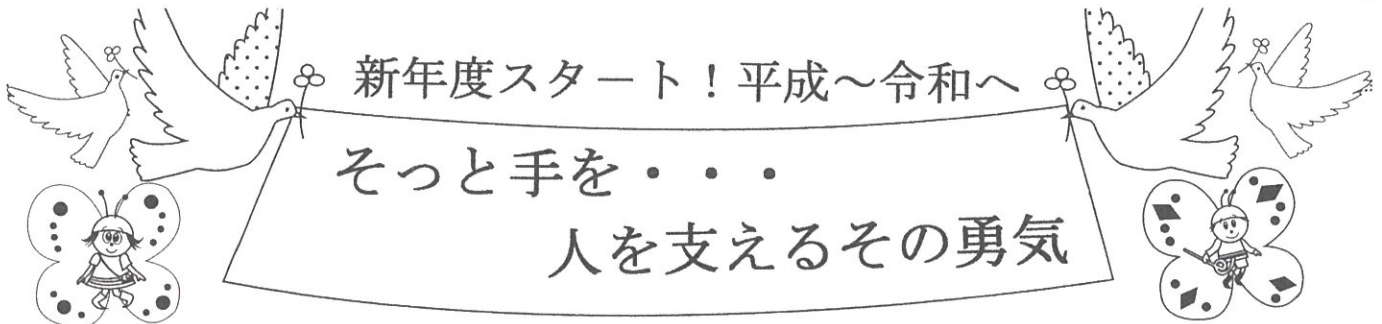


ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。



(車いすバスケットをしている様子)

こども福祉教室あいむ



行った様子)

ぼっかぼかの会
(中学生と一緒に
おせち作りを

3月29日夜7時より、社会福祉センターに於いて、ボランティア連絡会の総会を行いました。当日は13グループの皆さんが出席され、平成30年度活動報告、会計報告を行いました。その後各グループの活動報告と次年度の活動計画の発表がありました。又ボランティア保険の話や社協よりの活動助成金もお渡ししました。

連絡会では、「ボランティアのつどい」「飯伊ボランティア交流研究集会」等への参加をし、集会では松川高校ボランティア部が大勢の皆さんの前で発表して下さいました。

今年は新しく2つのグループが連絡会に入って下さいましたが、長年活動されていた「あじさいの会」が高令化に伴い惜しまれつつ脱会する事となりました。

活動報告の中でどのグループも高令化とメンバー減少が課題となっています。その様な事もあり、年1回の「ボランティアのつどい」はメンバー同士の交流に重点をおいていたのですが、今年度は外にむけてボランティアグループの紹介をしようという事になりました。まずは皆さんに知って頂く事、それによってメンバーが少しでも増えればと思っています。大勢の皆さんに知って頂くために、学校が夏休みの間にと只今計画中です。その折には皆さん是非声をかけ合ってお誘い合わせて、お出かけ下さい



ボランティア連絡会

会長 佐々木孝子

集う人たちに笑顔をもたらそう

オレンジカフェ

生後五ヶ月の赤ちゃんの一挙一動に皆さんの笑顔がはじけました。順ぐりに抱っこして...それは皆さん満面の笑み。

七ヶ月で来てくれた時は、ちょうど人見知り、少し距離をおいて声かけ。

中学一年生の福祉学習では、三人の方が戦争体験を語りました。ご自身の言葉で読みなく。本番前とはうって変わった姿にスタッフ一同びっくり、この世代の方々の戦争体験は深くその体に染み込んでいるのだと実感。

20代の若い女性が、お年寄りの施設で食事作りをしている仕事ぶりには質問も出てなごやかに。そしてお才の男性の手編み初体験。三人の手編み仲間の協力で実現、女性利用者の声援を受けつつ、アクリルたわしを編み始めました。熱心なお姿にご利用者も感動しました。

前ぶれもなく立ち寄り下される方もあり、出来るだけ多くの方々に知っていただきたいという初期の目的に近づきつつあります。36人の利用者が集うカフェへ皆様どうぞお越し下さい。

何原



花てまりクラブ

仲間って良いものですね!

子供も手離れ、家事と果樹園の仕事、少しの時間をかーディングにと楽しんでいた時に「インター入口の花壇作りを一緒にやってくれない?」と。私にもまだ役に立つ事が出来るんだ...と喜んで参加させていただきました。

硬い土と草をシャベルで掘り起こし、家にある花を持ち寄って植え始めました。夏の水やりはとても大変ですが、仲間っていいものですね、お陰で沢山の花々が咲くようになり、とても楽しみです。インターを通られる方が少しでも花が目に止まり癒される事を願っています。

宮下 厚子

この会に入った時びっくりしたのは、皆が植物にとっても詳しく大切にしている事でした。作業は主として植え付けと草取りですが、大人数なので短時間に手ぎわ良く進みます。そしてお茶タイムのお楽しみ。色々な話が飛び交い草花の植え方など勉強になります。インター入口という場所なので、

町外から訪れる人々に良い印象を持っていただけよう、これから無理せず、自分達も楽しめる活動が出来ればと願っています。

矢沢 美鈴



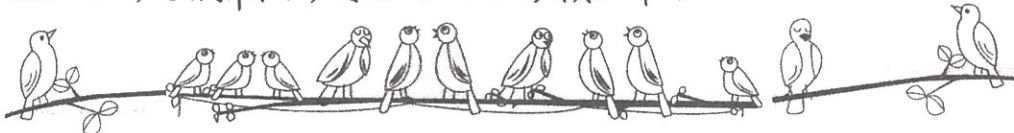
松川町で過ごした3年間は私の一生の宝物～

松川高校ボランティア部 前部長 塚原 健吾 (日本福祉大1年)

松川町社会福祉協議会、松川町民の皆様、3年間大変お世話様になりました。福祉を考える集会やハーフマラソン、高齢者や農家さんとの交流など、多くの町の行事やイベントでボランティアさせていただいたり、東北支援活動にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

松川町の皆様と関わる中で、いつも温かいお声かけや励ましのお言葉をいただけてとても嬉しかったし、「お役に立っている」という実感が、ボランティア活動のゆみとなりました。「人と人が繋がる」ことの大切さや、今後の人生における「大切な宝物」を教えきれないほど頂きました。特に東北支援活動や、昨夏、長野県初開催の「全国高等学校総合文化祭」において「満蒙開拓」に関する学習の企画運営の際には、多くの皆様方の物、心両面の温かいサポートをいただきましたことに心から感謝しています。この3年間、松川町の自然風土、何よりも皆様に育てて頂いたご恩はこれからも決して忘れません。

高校時代にこんなにも「素敵な大人」の方々にお目にかかれたことは、とても幸なことと感じていますし、私たちの誇りでもあります。これから歩む道はそれぞれ違いますが、育てていただいた温かいお心を胸に新しい世界に飛び立ちます。3年間大変お世話様になりました。これからも後輩たちをよろしくお願ひ申し上げます。



 ボランティアのくさりをつなげましょう

年度が変わり各ボランティアグループも心を新たに活動を始めています。この春一つのグループが解散しました。年令の事、後継者の事など話し合われた上の決断との事です。

松川町には今、20のグループが活動をしています。その多くが仲間を求めています。ボランティアは時間に余裕のある人、何か特技をもった人が誰かのために生かす場とは限りません。ちょっと息切れしそうなグループに、全面参加でなくても、できる時にできる事で参加、そうやってボランティアのクサリをつないで、地道に、息の長い活動にしていけたらと思います。

ボランティアって、誰かのためになつているのかな……と思っているうちに、自分のためでもあった……といつの間にか、気づいたりもします。



熊谷あや子

ボランティア活動保険加入申込み受付中!

ボランティア保険は、ボランティア活動のさまざまな事故によるケガや損害賠償を補償する保険です。活動中の万が一の事故に備え、保険の加入をおすすめします。

- 補償期間（保険期間）
平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）まで
※途中加入もできます
- 保険料
Aプラン 350円
Bプラン 500円
※他のプランもあります
※被災地支援は別料金 510～710円



【お問い合わせ先】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 電話：36-3778



* 5 月 *

* 6 月 *

◇ いとし児会	随時(要請のあったとき)	
◇ おもちゃ図書館	25日(土)	22日(土)
◇ ゆきわり草(お弁当配り)	月～金毎日	月～金毎日
◇ スイートボイス(朗読分担例会)	28(火)	28(金)
◇ ぼっかぼかの会(高齢者世帯の支援)	随時(要請のあったときに)	
◇ ノンタンの会	14(火)・28(火)	11(火)・25(火)
◇ きっかけの会	16(木)	未定
◇ 2.3gせっけんの会	毎週火曜日	
◇ たんぼぼの会(定例会)	9(木)	13(木)

五月
ラ
ン
テ
ィ
ア
予
定

* 随時メンバー募集!! お問い合わせ：電話36-3778



ほーい
元気?

はじめてまして
みぶ ボランティア
みぶ コーディネーターの
みぶ 壬生あかりと申します

“

今年の4月から社協の地域ボランティアセンターで、ボランティアコーディネーターとして働かせていただいております。壬生あかりと申します。

私は、高校生の時、祖父が入院したことがきっかけで、福祉の現場で働く人に興味を持つようになりました。この経験から、大学では福祉について知りたいと考え、県外の大学で福祉について学んできました。

人と話すことが好きなので、多くの人と関わる社協で働けることをうれしく思います。

まだまだ分からないことばかりですが、みなさんに助けていただきながら頑張りたいと思います。

よろしくお願ひします。

